

2025年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
31220	AIと社会	小野功一郎		専門	2	選択	1後期
科目の概要							
ChatGPTなどを代表とした生成AIは世界中の人々の関心を集めています。ビジネス、創作、教育など様々な分野で活用され始めています。ヒトの知能と機械の知能(AI)の共生する未来はますます、進んでいくと思われ ます。生成AIと人間社会の接点はとても興味深いものがあります。その共生によって、人類にとってどのよ うな恩恵をもたらし、どのような課題を生むのか考えていきます。生成AIを使う体験を踏まえながら、生成 AIの現状と未来、人間に求められる要素について解説していきます。							
学修内容				到達目標			
① 生成AIが誕生するに至るまでの人工知能の歴史を解説し、自然言語でAI操作が可能になっ たことで多くの利活用ができることを学ぶ。 ② AIの企業での活用事例を学ぶことにより、今後の利活用について考える。 ③ AIに与える命令文(プロンプト)次第で生成AIの性格や機能が大きく変化することにつ いて学ぶ。 ④ AIの利活用がすすむことで起きてくる倫理的な問題、法、著作権などについて学ぶ。 ⑤ 生成AIを活用した創作活動(文章作成、画像生成、音楽制作など)の実践方法につい て学ぶ。 ⑥ 生成AIを活用した創作活動(文章作成、画像生成、音楽制作など)の実践方法につい て学ぶ。 ⑦ 医療、福祉、教育など、様々な領域におけるAI活用の可能性と課題について学ぶ。 ⑧ AIの判断や意思決定における公平性、透明性、説明責任の重要性について学ぶ。 ⑨ AIに関する国内外の政策動向と法整備の現状について学ぶ。 ⑩ 生活デザイン分野におけるAI活用の実践例と将来展望について学ぶ。				① AIの歴史と技術背景について説明できる。 ② AIの社会での活用事例とその意義について理解している。 ③ 生成AIを使って、文章や画像の生成を通して、その能力について体験できる。 ④ ヒトの知能と機械の知能(AI)の共生する未来を想像し、人間に求められる倫理 面などについて述べることができる。 ⑤ 生成AIを活用した基本的な創作活動を実践できる。 ⑥ AIが雇用や仕事に与える影響を理解し、自身のキャリア形成について考察でき る。 ⑦ 様々な領域におけるAI活用の可能性と課題について具体例を挙げて説明でき る。 ⑧ AI利用における倫理的配慮の重要性を理解し、適切な利用方法を判断できる。 ⑨ AIに関する主要な政策や法的枠組みについて基本的な知識を持つ。 ⑩ 生活デザイン分野におけるAI活用について独自の提案ができる。			
学生に発揮させる社会人基 礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏 み出す 力	主体性	自らの意志と責任で学習を進め、あらゆる事を自分事として捉えていくことができる。					
	働きかけ力	困難があっても先生や友人などに積極的に質問・助言を求め、自ら解決に向けて努力でき る。					
	実行力	頭で考えるだけでなく、実際に行動に移しトライアンドエラーを実践できる。					
考え抜 く力	課題発見力	得られた情報から課題を発見し、何が原因であるのか創造力を発揮し分析を行うことがで きる。					
	計画力	行動を起こす前にビジョンを明確にし、タスクを細分化したうえで次の行動を決められ る。					
	創造力	レポートは、習得した知識・スキルを活用して創造力を発揮して書くことができる。					
チーム で働く 力	発信力	発信力を発揮してパワーポイントを活用して発表することができる。					
	傾聴力	話をよく聴き、質問をしてさらに、理解を深めることができる。					
	柔軟性	一度決めた目標であっても、変更の必要性があれば柔軟に対処できる。					
	状況把握力	グループ活動ではメンバー、自身の立ち位置を考えて行動できる。					
	規律性	遅刻・無断欠席など、学修意欲の欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するよう にルールを守ることができる。					
	ストレスコントロール力	生活のなかに適度に休む時間を設け、バランスよく学習を進めることができる。					
テキスト及び参考文献							
テキスト：授業内配布 参考文献：はじめてのAIリテラシー、AIと社会 技術評論社 生成AIプロンプトエンジニアリング入門 翔泳社							
他科目との関連、資格との関連							
DS・AIパスポート資格の必修科目になります。							
学修上の助言				受講生とのルール			
本講義ではAIに関する技術的な側面だけでなく、社会的・倫理的な側面に重点を置いて学びま す。生成AIツールを実際に使用する演習も行いますので、AIに対する好奇心を持って臨んでくだ さい。日常生活や報道されるAI関連ニュースに注目し、AIがもたらす変化について常に考察する 習慣をつけると学習効果が高まります。また、AIプロンプトの作成練習など、授業外での実践も 推奨します。DS・AIパスポート資格取得を目指す方には、本科目の内容が試験範囲に含まれます ので、特に重要な科目となります。AI技術は急速に進化していますので、最新情報にも注目しな がら学びを深めてください。				授業の内容を理解し、積極的に取り組む姿勢がみられるこ と。 予習・復習をする時間をとること。			

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標			各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	30	①	✓	⑥	AIに関わる用語について理解している確認をしていきます。 AIと法律について確認をしていきます。 AIの将来の活用のされ方についても確認していきます。
				②	✓	⑦	
				③		⑧	
				④	✓	⑨	
				⑤		⑩	
	平常評価	小テスト	10	①	✓	⑥	第1～7週では知識の定着のため、用語の理解に関する小テストを単元ごとにおこなっていきます。 (AI機械学習、アルゴリズム、統計、プログラミングなどに関する理解)
				②	✓	⑦	
				③		⑧	
				④		⑨	
				⑤		⑩	
		レポート	30	①		⑥	各授業の最後には、振り返りを書いてもらいます。講義などから、自分の行動を振り返り、次に活かしていくにはどうしたらよいか考えてください。 ・課題として出された提出物はしっかり書いてすべて提出すること。 ・知識と技術の獲得とそれを活用し、課題を解決できたかどうかのpisa型学力も評価する。 ・毎回の授業での振り返り 10点 ・生成AIによって起こりうる身近な問題について10点 ・生成AIを使って、作品などの作成と利活用
				②	✓	⑦	
				③	✓	⑧	
				④		⑨	
				⑤		⑩	
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	20	①	✓	⑥	・生成AIを使って、作品などの制作について発表 ・生成AIによって起こりうる身近な問題とこれからの利活用の発表
				②		⑦	
				③	✓	⑧	
				④	✓	⑨	
				⑤		⑩	
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	⑥	自らの意志と責任で学習を進め、あらゆる事を自分事として捉えていくことができる。主体性 困難があっても先生や友人などに積極的に質問・助言を求め、自ら解決に向けて努力できる。働きかけ力 頭で考えるだけでなく、実際に行動に移すトライアンドエラーを実践できる。実行力 得られた情報から課題を発見し、何が原因であるのか創造力を発揮し分析を行うことができる。課題発見力 行動を起こす前にビジョンを明確にし、タスクを細分化したうえで次の行動を決められる。計画力 レポートは、習得した知識・スキルを活用して創造力を発揮して書くことができる。創造力 発信力を発揮してパワーポイントを活用して発表することができる。発信力 話をよく聴き、質問をしてさらに、理解を深めることができる。 一度決めた目標であっても、変更の必要性があれば柔軟に対処できる。傾聴力 グループ活動ではメンバー、自身の立ち位置を考えて行動できる。柔軟性 遅刻・無断欠席など、学修意欲の欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。規律性	
			②	✓	⑦		
			③	✓	⑧		
			④	✓	⑨		
			⑤		⑩		
総合評価割合			100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
A： ・課題レポートは期限までに提出でき、字数や記載内容も良く書けている。 ・発表ではわかりやすく、人に伝えようと工夫を凝らしている。 ・毎回、授業でおこなうワークに積極的に取り組むことができる。 ・試験は80%以上の点数である。 S： ・Aの基準に加えて、さらに学ぶ姿勢も良く、地域活動などではリーダー的な役割をしてグループをまとめようと努力している。 ・授業で学んだことをさらに発展させるために自身で生成AIを積極的に使うことをして、そこに生じる倫理面についても考えることができる。 ・試験は90%以上の点数である。	C： ・課題レポートは期限までに、概ね提出できた。 ・課題提出、発表では、多くの助言のもと進めていた。 ・試験は70%以上の点数である。 B： ・課題について理解でき、取り組んでいた。 ・ワークに真面目に取り組むことができる。 ・課題のレポートは期日を守り提出できている。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
1	人工知能について	小テスト 講義 ワーク 振り返り	人工知能の概念、用途について理解する	教科書第1章 人工知能とは を読んでくる	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 規律性
2	人工知能の歴史	小テスト 講義 ワーク 振り返り演習 グループワーク 発表	人工知能の歴史から、 今求められていることを理解する。	教科書第1章 人工知能の歴史 を読んでくる	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 規律性
3	人工知能をめぐる動向 と問題	小テスト 講義 ワーク 振り返り演習 グループワーク 発表	自然言語でAIを扱える ことによって進む文系 と理系の融合について 述べることができる。 人工知能をめぐる問題 を述べることができ る。	新聞、ネットなどで、 人工知能の活用と問題 に関する記事を調べて くる	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 規律性
4	AIの技術 機械学習、ディープ ラーニング、自然言語 処理	発表 講義 演習 小テスト	AIの学習方式について 理解する。(機械学 習、教師あり学習、教 師なし学習、ディープ ラーニング)	人工知能、機械学習、 ディープラーニングの 要点をまとめる。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 規律性
5	統計と数学 記述統計、推測統計、 ベイズ統計	発表 講義 演習 小テスト	AIに必要な統計を 理解する。	それぞれの統計の特徴 をまとめる。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 規律性
6	AIとアルゴリズム	発表 講義 演習 小テスト	AIの根幹をなすアルゴ リズムについて理解す る。	用語の整理をする。ア ルゴリズム、組み合わ せ、総当たり・近似・ 機械的アルゴリズム	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 規律性
7	データ構造とプログラ ミング	発表 講義 演習 小テスト	Colaboratoryで例にな らってプログラミング する。	教科書にある例題を行 う	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 規律性
8	自然言語処理1 文章生成するAIの概要	講義 演習 発表	文章生成AIの概要や主 に、ChatGPTを使った 生成方法を理解する。	実際に生成AIにプロン プトを与えて文章を作 成してみる。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
9	自然言語処理2 ChatGPT	講義 演習 発表	文章生成AIの利点、弱点を把握し、ChatGPTの活用方法を理解する。	生成AIにプロンプトを与えて文章を作成してみる。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 規律性
10	自然言語処理3 プロンプトエンジニアリング	講義 演習 発表	生成AIの能力を引き出すためのプロンプトエンジニアリングについて理解する。	AIにプロンプトを与える際の適切な指示文の与え方をまとめる。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 規律性
11	自然言語処理4 プロンプトと要件定義	講義 演習 発表	仕事を勧める上での要件定義を活用したプロンプトについて理解する	ビジネス界で活用のされ方をまとめる。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 規律性
12	自然言語処理5 応用事例	講義 演習 発表	chatGPTを使って、ブレインストーミングを実施できる。	chatGPTを使って、ブレインストーミングからアイデアをまとめる。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 規律性
13	画像を生成するAI	講義 演習 発表	画像を生成するAI、Midjourneyを使って、創作活動をし、それを発表する	画像を生成するAI、Midjourneyを使っでの創作	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 規律性
14	AIによる創作活動	講義 演習 発表	生成AIを使って、創作活動をし、それを発表する	生成AIを使って作品の制作をする。(文章、作品など)	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 規律性
15	人工知能の法律・倫理	講義 まとめ	生成AIを実際に使ってみて考えられる問題を法律などと照らし合わせて考える。	生成AIによって起こりうる身近な問題とこれからの利活用レポートの作成。期末試験に備えて、学習をする。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力